

職員のみなさんが  
“やりがい・働きがい”を持てる



# 人員確保・職場環境を

市民の福祉とくらしを支えるお仕事、毎日、ありがとうございます。  
職員のみなさんが“健康でいきいきと働ける職場環境”をつくるため、  
日本共産党は、職員のみなさんの声を聞き、全力をつくします。

日本共産党

行政・住民サービスを担い・支える——

## 自治体職員は、『人材』であり『財産』

住民の奉仕者として地域を支える大切な仕事

### ● 正規職員数の推移

	本庁舎	川之江庁舎	土居庁舎	新宮庁舎	総職員数
2002(H14)	伊予三島市 385人	川之江市 333人	土居町 159人	新宮村 71人	4市町村 計948人
2004(H16)	346人	210人	95人	43人	1,270人
2009(H21)	458人	99人	45人	6人	1,115人
2014(H26)	396人	80人	29人	5人	968人
2015(H27)	369人	35人	12人	4人	957人
2016(H28)	387人	16人	10人	3人	943人

※国中央市人事課による。総職員数=4庁舎職員+出先機関等職員(各年4/1現在)

### ● 正規職員・非正規職員の推移

年	正規職員数	非正規職員数	非正規職員比率
2005(H17)	1,249人	478人	27.7%
2008(H20)	1,153人	515人	30.9%
2014(H26)	969人	677人	41.1%
2015(H27)	957人	663人	40.9%
2016(H28)	943人	664人	41.3%

※四国中央市人事課による(各年4/1現在)

### ● 非正規職員数(※2016年4月現在。総務省調査より)

合計 646人	一般事務職員120人、技術職員5人、医師1人、 医療技術員6人、看護師5人、保育士155人、 給食調理員47人、技能労務職員77人、教員・ 講師11人、その他219人
------------	--

住民サービス向上  
危機管理・万一の災害対応——

## 住民の命と生活を守る職場態勢を

「地方自治体とは、自治体職員とは」— 2011東日本大震災以降、全国各地で大規模自然災害が頻発し、あらためて「地方自治体と職員の役割」がクローズアップされています。

今後想定される南海地震にも備え、防災・減災をはかり、地域の自主防災を組織するなど、住民のいのちと財産・生活を守る行政の態勢づくりと機能強化、職員配置を求めます。



仕事を支える非正規の方々に——

## “誇りと使命感”の 持てる処遇と雇用を

各職場で。恒常的業務には正規職員配置が必要です。同時に、増え続ける非正規の方々が、仕事に“誇りと使命感”がもてる処遇の改善と雇用の安定が必要です。

市役所・自治体の雇用が「低賃金・ワーキングプア」や「短期的・不安定雇用」を生み出すようでは、地域の民間で働く人たちの労働条件や雇用の改善にもつながりません。

民報 宇摩 2016年10月号外

発行/日本共産党四国中央市委員会  
【連絡先】三島宮川3-3-25  
TEL23-1278 FAX 24-4665

●日本共産党の見解をご紹介します。

福祉・くらしを  
大切にする市政を  
一緒に  
つくります！

生活相談担当地域



青木 永六  
市議会議員

寒川、豊岡、具定町、  
中之庄町の一部、土居町



三好 平  
市議会議員

川之江、新宮



ひだか 裕輔  
党市青年対策委員長

旧三島、松柏、中曾根、中之庄